



関鉄の制服で鉄道ファンを迎える三澤さん

6月21、22日の両日、関東鉄道常総線の活性化を支援している「関鉄レールファンCLUB」で、初の女性広報担当に就任した広島市出身の三澤真希さんが勝波ノ江駅を訪れ、鉄道ファンと交流しました。

三澤さんは、鉄道ファンの父親の影響で元々ローカル線に興味を持っており、今年3月に下妻公民館で開催された同クラブ主催の鉄道フォーラムに参加した際、ローカル線活性化の活動に共感し、入会を決意しました。

三澤さんは「鉄道ファンは個人的に動くことが多い中で、関東鉄道と関鉄レールファンCLUBとの『共にローカル線を盛り上げよう』という強いつながりに魅力を感じた。私も一緒に盛り上げていきたい」と熱い思いを話してくれました。

同クラブは現在、鉄道が好きで、共に活動してくれる女性鉄道愛好家を募集しています。

女性にも鉄道の楽しさを広めたい  
「関鉄レールファンCLUB」女性部創設

ポピーが刈り取られた後の鬼怒フラワーラインで6月15日、花と万人の会が主催する「さつまいも定植大会」が行われました。

青龍楽校少年団や花芳ジュニアスタッフ、市内小学生の親子など約120名が慣れない手つきながらも「ベニハルカ」と「ムラサキマサリ」の苗を丁寧に植えました。

今回は、例年植えてきた「ベニアズマ」から、2010年3月に品種登録された新品種の「ベニハルカ」に試験的に変えてみたという飯島会長からは「糖度が高いのが特徴で、とてもおいしい品種」との話が聞けました。

友人に誘われて、今回はじめて参加した櫻井垂衣さんと一輝くん（下妻小1年）親子は、「普段、家では土に触れることがないので、よい経験になった。秋にはおいしいさつまいもが楽しみ」と話してくれました。

おいしくさつまいもが育ちますように  
さつまいも定植大会



花芳スタッフに教わりながら苗を植える親子



見事的に射止め、歓声があがる流鏝馬神事

## 勇壮な「流鏝馬」と鮮やかなあじさいを楽しむ

### 流鏝馬神事・あじさい祭り

古式ゆかしい狩装束に身を包んだ射手が馬上からの的を射る「流鏝馬神事」が6月29日、大宝八幡宮で開かれ、境内の馬場を勢いよく駆け抜ける勇壮な神事に、見物客たちからは歓喜の声が上がっていました。

つくば市から国際交流団体の仲間と参加した台湾出身の周晏羽さんは「流鏝馬を見るのは初めて。近くで見ると、迫力がすごい」と喜んでいました。

また、境内のあじさい神苑では「あじさい祭り」が開催され、「駅からウォーク」の参加者や観光客たちが見頃を迎えた約300種4,000株のあじさいを鑑賞しながら、抹茶のおもてなしや草花の無料抽選会を楽しんでいました。



雨に濡れた鮮やかなあじさいを見入る観光客



砂沼湖上を滑空するコグンカンドリ（小澤俊行さん撮影）

## 砂沼湖上を颯爽と飛ぶコグンカンドリ

### 砂沼にコグンカンドリが飛来

砂沼の観桜苑周辺に、熱帯海域に分布する大型の海鳥、コグンカンドリが飛来し、野鳥愛好家や砂沼を散策する人などの注目を集めました。

鳥が現れたのは6月3日前後と推測され、6月15日頃までの2週間ほど砂沼周辺に留まった様子。砂沼西岸近くの長塚に住む小澤俊行さんが、自宅から何気なく砂沼上空を眺めていると「見たことがない鳥が飛んでいる」と気付いて写真を撮影。インターネットで調べたところコグンカンドリと分かりました。

日本野鳥の会に所属する市内堀籠の望月和夫さんは「砂沼では、海鳥のコグンカンドリが高い木の枝にとまっている珍しい姿が見られた。全国各地から集まった野鳥愛好家の人たちと、地元の人が和やかに交流するよい雰囲気だった」と話しました。

JICA（ジャイカ：国際協力機構）ボランティアとして今年7月から2年間、東アフリカのエチオピアに派遣される木村翔さん（下妻丙・大町）が6月23日、稲葉市長を表敬訪問しました。

木村さんは、アムハラ州スポーツ委員会のアウイ県スポーツ事務所に派遣され、草の根レベルでのスポーツの普及・振興活動、学校や地域との連携に基づいたスポーツ選手・指導者の強化・育成などに取り組みます。

「スポーツ分野での知識や経験を生かして、子どもや女性がスポーツを楽しむ環境づくりに貢献したい」と抱負を語る木村さんに、稲葉市長は「環境や食事が変わるので、体に気をつけて頑張ってください」と激励しました。

エチオピアでスポーツ振興に励みます  
JICAボランティア表敬訪問



7月出発に向けて抱負を語る木村さん



白熱した取組が続いた下妻場所

大宝八幡宮の境内にある土俵で6月15日、下妻青年会議所が主催する「第4回わんぱく相撲下妻場所」が開催されました。

下妻市や八千代町近隣の小学生が個人戦に40人、小学4年生以上で3人一組とする学校対抗の団体戦に3チームが出場しました。

毎年観戦を楽しみにしているという80歳代の女性は「体が大きい子は有利だが、小さくてもまわしを取って上手な子もいる。一生懸命な姿が見ていて楽しい」と小さな力士に声援を送っていました。

個人戦4年生の部で優勝した高道祖小学校の端龍之介くんは「優勝できてうれしい。作戦どおり足技が決まってよかった。県大会でも頑張りたい」と意気込みを語りました。

土俵際ギリギリの勝負  
第4回わんぱく相撲下妻場所

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄